

公開講演会のご案内

「13歳からの男子の“性”を考える」

<日時>2015年6月20日(土) 14:00~17:30

<場所>池袋キャンパス 11号館 A301 教室

昨今問題とされている思春期の子どもたちの性の問題は、性行動の若年化やそれに伴う若年妊娠や性感染症にとどまらず、インターネットの普及により性情報の氾濫による影響も大きくなっています。メディアやコミュニケーション技術が急速に発達する中で、学校、家族、地域を含めた望ましい性教育・ケアのあり方について、当事者も含めて議論される機会はほとんどありません。

本シンポジウムは、染矢明日香・みすこそ著『マンガで学ぶ 13歳からの男子のこころ・からだ・性(仮題)』の出版を記念し、当事者である思春期の子どもたちと、性や教育に関わる専門家と共に、これからの日本において子どもたちに本当に必要な“性”の学びについて議論を深めます。第1部では、思春期学会名誉会員で性教育の研究・実践を行ってきた村瀬幸浩氏より13歳の男子を取り巻く性の現状と課題についての基調講演の後、第2部では、当事者である思春期の子どもたちとNPO法人ピルコン理事長染矢明日香氏が対談を行います。続く第3部では、教育に関わる有識者を招いてのパネルディスカッションを行い、少子化と子どもの貧困が同時に進んでいる日本社会の中で、若年妊娠、中絶、虐待、性感染症、不妊など、性と生に関わる課題について、多角的な視点から解決策を探っていきます。

開会挨拶：中村 陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授・法学部教授兼任、社会デザイン研究所所長）

<講師>

【第1部】基調講演『男子を取り巻く性の現状と課題について』

むらせ ゆきひろ
村瀬 幸浩 氏（日本思春期学会名誉会員，“人間と性”教育研究協議会幹事）

【第2部】思春期の子どもたちに聞くこころ・からだ・性の悩み

そめや あすか
染矢明日香氏（NPO法人ピルコン理事長）

13歳~16歳の男女 2名程度

【第3部】パネルディスカッション『これから必要な性の学びについて』

むらせ ゆきひろ
村瀬 幸浩 氏（日本思春期学会名誉会員，“人間と性”教育研究協議会幹事）

そめや あすか
染矢明日香 氏（NPO法人ピルコン理事長）

いわきり じゅん
岩切 準 氏（特定非営利活動法人夢職人 代表理事）

うちだ ようすけ
内田 洋介 氏（慈愛会今村病院泌尿器科医部長、鹿児島大学非常勤講師）

かねこ ゆみこ
金子由美子氏（『季刊セクシュアリティ』編集長、日本思春期学会理事、公立中学校養護教諭）

わたなべ まゆこ
渡辺真由子氏（メディアジャーナリスト）

コーディネーター：やまぐち いわお 山口いわお氏（NPO法人JASH 日本性の健康協会代表、看護師、
八千代市思春期保健ネットワーク委員）

主催：21世紀社会デザイン研究科

共催：社会デザイン研究所

対象：21世紀社会デザイン研究科学生、本学学生、教職員、校友、一般市民

問合せ先：21世紀社会デザイン研究科委員長室 tel: 03-3985-2181
(月~金) 11:00~18:00

受 講 無 料 / 申 込 不 要

立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科は

現代社会の求める「NPO/NGO」と「危機管理学」を学べる日本で初めての大学院です